

# 全国医学生のつどい (12月つどい)

## テーマ「人権を守るためのアドボケイト ～LGBTQs～」

2019年12月14日～15日に12月医学生のつどいin熊本が開催されました。今回は人権について学習をしました。1日目の講師として、多様な性を生きる人を応援するNPO法人「すこたんソーシャルサービス」代表の伊藤悟さんと城南病院(岐阜県)の菊池修司医師に講演していただきました。まずセクシュアリティ(性)について基本用語の解説をしていただき、自身の体験をもとにセクシャルマイノリティー(性的少数者)の方々が日常の中で体と心をすり減らしながら生活をしている現状について教えていただきました。中でも自身のパートナー(同性の方)が救急病院へ搬送された際に「親族ではないから」ということで病状説明を受けることもできず不安でしかなかったという事例は医療者としても考えなければならない問題だと感じました。

またセクシャルマイノリティーの方々は「特別扱い」ではなく「平等」を求めているとの言葉を受け、LGBTQsの方々が抱えている困難はなにがあるのか考えました。

2日目はくすのきクリニックの板井八重子医師から水俣病に対してどのようにアプローチしていったのか講演いただきました。

個人レベルではどのような患者であっても訴えを傾聴することを大切にしているということ。

地域レベルでは病院に来院できない患者に訪問診療を行ったり、地域周辺への掘り起こし検診を行っているということ。

国レベルでは水俣病研究の論文発表や有機水銀に関する国際会議に参加して疾患に対してアプローチをされているという内容を受けLGBTQsの方々が抱える困難も同じように個人レベル・地域レベル・国レベルでは何ができるのか意見交換を行いました

最初は馴染みのないセクシャルマイノリティーの問題でしたが、多くの学生と問題を共有し解決方法を模索するうちに身の回りの問題として考えることが出来ました。

# 医学生 Plaza of Medical students の 広場

医学生向け企画案内・報告  
2020年間スケジュール

# 宮崎民医連 フィールドワークの紹介

宮崎民医連では年に一回フィールドワークを実施しています。フィールドワークでは宮崎県の各地域に出向き私たちの医療活動を患者さんや地域を通して、毎年のテーマに沿った学習を行います。昨年は「就労生体の生活実態」をテーマとし、実際の就労現場に出向き就労者の声(長時間労働の実態、低賃金のため娯楽の余裕がない事、忙しくて検診に行けないなど)を聞き、医療者として何が問題点なのか?できることや必要な視点について考えました



そして、2020年は「居場所づくりを通じて、地域包括ケアとこれからの民医連医療について考える」をテーマとしています。

### ○ 全国医学生のつどい(3月つどい)のご案内

日時: 2020年3月20日(金)～22日(日)  
場所: 福島県  
内容: 未定

### ○ 次回フィールドワークのご案内

内容: 現在居場所づくりとして地域を巻き込み活動している方々のところへ出向き、活動や話の中から地域包括ケアについて学び、今後訪れる超高齢社会の中で医療者として何ができるのか考える。

日時: 2020年3月7日(土) 9:00～18:00  
場所: 宮崎生協病院周辺  
対象: 医学生、看護学生 新1年生の参加大歓迎です!  
参加費: 無料

### 《当日のスケジュール》

9:00 宮崎生協病院集合・オリエンテーション  
10:00 居場所づくりへ訪問調査  
13:00 昼食  
14:30 訪問のまとめ  
17:00 報告会  
18:00 終了

参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。  
申し込み・問い合わせ先

宮崎民医連 医学生サポートセンター(医学生担当: 松本、黒木) E-Mail: kiyotake-bunsitu@iga.bbq.jp TEL 0985-85-9717

